2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		演習	河 크
科目名	学外企業実務研修		必修/遺	選択(の別	選択	授業時数(単位数)	60	(2)	時間(単位)
対象学年	1年		学期及	び曜日	诗限	後期	教室名			
担当教員	飯塚 稔	実務経験と その関連資格								

《授業科目における学習内容》

医薬品企業で医薬品製造工程全般、またその中の工程である品質管理を学び、品質保証の実務に精通し就職活動に活かすことができる内容とします。

《成績評価の方法と基準》

レポート70点、出席20点、平常点10点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布資料等

《授業外における学習方法》

前期GMPについて習得した内容が実際の製造工程でどのように活かされているか都度確認しながら学習してください。

《履修に当たっての留意点》

品質管理職に就くにあたっては基本的な操作技術と品質保証全般についての知識習得が必須であることに着眼し、就職活動までにこの2つのレベルを少しでも上げる努力をしていきましょう。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質について細部にわたり説明できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな		
1	自形式	各コマに おける 授業予定	医薬品・化粧品企業講演 品質とは		がら授業を聴講、発言してください		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質について細部にわたり説明できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな		
2 回	百形式	各コマに おける 授業予定	医薬品・化粧品企業講演 品質とは	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください		
第	演	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品製造工程を体感して工程を説明できるようになる とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください		
3	習形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習①	配 作 質 科 寺			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品製造工程を体感して工程を説明できるようになる とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる		常にこれまで学んだ		
4	習形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習①	配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください		
第	演习	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品製造工程を体感して工程を説明できるようになる とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる		常にこれまで学んだ		
5回	習形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習②	配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください		

	削 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品製造工程を体感して工程を説明できるようになる とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる	#7	常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
6 回	形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習②	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 適にての 到達目標 とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる			常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
7 回	形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習②	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品製造工程を体感して工程を説明できるようになる とともに前期授業で学修したGMPと照らし合わせることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
8 回	百形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品製造工場見学実習②	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品・化粧品の商品が世に送り出されるまでについて説明で きる	The state of the s	常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
9 □	形式	各コマに おける 授業予定	医薬品・化粧品について知る①	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品・化粧品の商品が世に送り出されるまでについて説明で きる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
10回	百形式	各コマに おける 授業予定	医薬品・化粧品について知る②	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	演習	授業を 通じての 到達目標	品質保証業務を実践するだけでなく、改善提案など能動的な思考で意見を述べることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな		
11 回	一形式	各コマに おける 授業予定	品質保証業務の実践① バリデーション	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質保証業務を実践するだけでなく、改善提案など能動的な思考で意見を述べることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
12回	百形式	各コマに おける 授業予定	品質保証業務の実践② 作業環境	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質保証業務を実践するだけでなく、改善提案など能動的な思考で意見を述べることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな			
13	音形式	各コマに おける 授業予定	品質保証業務の実践③ 工場内での汚染管理	配布資料等	GMFに思らし合わせながら授業を聴講、発言してください			
第	演羽	演羽	演羽	演習	授業を 通じての 到達目標	品質保証業務を実践するだけでなく、改善提案など能動的な思考で意見を述べることができる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな
14 回	音形式	各コマに おける 授業予定	品質保証業務の実践④ 不適合・逸脱について	配布資料等	GMFに思らし合わせながら授業を聴講、発言してください			
第	演羽	授業を 通じての 到達目標	品質保証業務を実践するだけでなく、改善提案など能動的な思考で意見を述べることができる		常にこれまで学んだ CMPに照らし合わせな			
15 回	習形式	各コマに おける 授業予定	品質保証業務の実践⑤ SOPを考察する	配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください			

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		演習	河 크
科目名	学外企業実務研修		必修/遺	選択(の別	選択	授業時数(単位数)	60	(2)	時間(単位)
対象学年	1年		学期及	び曜日	诗限	後期	教室名			
担当教員	飯塚 稔	実務経験と その関連資格								

《授業科目における学習内容》

医薬品企業で医薬品製造工程全般、またその中の工程である品質管理を学び、品質保証の実務に精通し就職活動に活かす ことができる内容とします。

《成績評価の方法と基準》

レポート70点、出席20点、平常点10点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布資料等

《授業外における学習方法》

前期GMPについて習得した内容が実際の製造工程でどのように活かされているか都度確認しながら学習してください。

《履修に当たっての留意点》

品質管理職に就くにあたっては基本的な操作技術と品質保証全般についての知識習得が必須であることに着眼し、就職活動までにこの2つのレベルを少しでも上げる努力をしていきましょう。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	AI技術を用いた品質保証について説明できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
16回	百形式	各コマに おける 授業予定	企業講演 AI技術を用いた品質保証	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	実際の品質管理データを用いて測定値の精度管理を行い考察できる		常にこれまで学んだ	
17 回	習形式	各コマに おける 授業予定	製造工程での精度管理の実践	配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
18	習形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習① 目薬中のビタミンEの品質管理実習	配 作 負 科 寺	GMPに思りし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ	
19	習形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習① 目薬中のビタミンEの品質管理実習	配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
20回	育形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習① 目薬中のビタミンEの品質管理実習	配布資料等	GMPに思りし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
21 回	自形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習② 医薬品成分の品質管理実習	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
22回	形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習② 医薬品成分の品質管理実習	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください	
第	演羽				常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
23 回			配布資料等	GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言してください		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる	The state of the s	常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
24	形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習② 医薬品成分の品質管理実習	配布資料等	GMPに思らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	
第		授業を 通じての 到達目標	HPLC測定で行う品質管理工程を実践できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな がら授業を聴講、発言し てください	
25 回	ョ形式	各コマに おける 授業予定	HPLC実習② 医薬品成分の品質管理実習	配布資料等		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	医薬品化粧品企業におけるSDGsと環境への取り組みについて 説明できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
26 回	百形式	各コマに おける 授業予定	医薬品化粧品企業におけるSDGsと環境への取り組み例	配布資料等	GMFに無らしらわせな がら授業を聴講、発言し てください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質管理業務に就き活躍する自分を想像できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
27回	形式	各コマに おける 授業予定	企業講演 医薬品化粧品企業で働き成長していくためには	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください	
第	演習			_	常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
28	形式	各コマに おける 授業予定	企業講演 医薬品化粧品企業で品質管理職に就くために求められる資質	配布資料等	がら授業を聴講、発言してください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	品質管理業務に就き活躍する自分を想像できる		常にこれまで学んだ GMPに照らし合わせな	
29 回	音形式	各コマに おける 授業予定	企業講演 医薬品化粧品企業が社会から求められるニーズ	配布資料等	GMPに照らし合わせながら授業を聴講、発言してください	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職活動を前に医薬品化粧品製造企業での品質保証、品質管理についての理解を深めることができる			
30 回	曾形式	各コマに おける 授業予定	総まとめ	配布資料等		